

仙台市市民活動サポートセンターの機能のあり方について

- 前回（7月）の委員会では、現在の仙台市市民活動サポートセンター（以下「サポセン」という。）の機能等を踏まえて、貸室などのサポセンの利用に関するご意見のほか、地域で活動しているより多くの団体に幅広くサポセンを活用してもらうためのアイデアや、企業などの様々な主体との連携の促進を期待するご意見などをいただきました。
- 今後は、下記1の近年の市民活動・市民協働をとりまく環境の変化も踏まえ、下記2の取り組みを行っていきたいと考えています。
- つきましては、各委員の皆様から、下記1の近年の環境の変化や下記2の取り組みに関して、ご自身の経験や知見に基づくご意見等を賜りたいと考えております。

1 市民活動・市民協働をとりまく環境

(1) 大きく3つの要素について多様化が進んでいると考えています。

- ① 課題の多様化
 - ・ 社会や地域課題の個別化・複雑化
 - ・ 課題への関心の高まり → 解決を求める市民ニーズの細分化
- ② 主体の多様化
 - ・ 企業による社会貢献、若者の参画、個人による発信
- ③ 活動形態の多様化
 - ・ 少人数の仲間、できる範囲で活動を始めるスタイルが増加
→ スモールスタートの普及

(2) こうした多様化が進んでいる環境においては、地域で活動している団体が必要としている支援ニーズの把握と支援の強化が重要と考えています。

【現状】

- ・ 課題の多様化 → 市民活動は細分化
- ・ 個人や少人数で始める小さな活動が増加
- ・ コロナ禍における活動の中断・縮小の影響

支援ニーズの潜在化

掘り起こしが必要

2 今後の取り組み

区中央市民センターやまちづくり拠点と連携を図りながら、市民活動をサポートしていきたいと考えています。

- 地域で活動している団体の情報収集・ヒアリング、活動の現場訪問等を通して、団体との関係性を築き、相談へつなげる。
- 多様な主体をつなぐコーディネート力の強化。
- 若者など新たな主体との連携を促し、多様な課題の解決につなげていく。